

まほろば秦野通信

令和8年4月20日

タイトル	県内初「バイスタンダーサポート事業」開始に伴い 消防職員を対象とした講演会を開催します
When (いつ)	4月23日(木曜日) 午後1時半～2時半
Where (どこで)	市消防本部3階講堂 (所在地: 秦野市曾屋757)
Who (だれが)	講師: バイスタンダー経験者 ^{ながの} 長野 ^{しょうき} 庄貴 氏
What (なにを)	<p>秦野市では、救急現場に居合わせた方(バイスタンダー)が生じる可能性のある精神的負担を軽減するため、東海大学医学部付属病院(^{おがわ}小川 ^{よしあき}吉明 院長)及びNPO法人 AQUA kids safety project 救命事業部(すがわらえみ 代表)と提携し、今月から、包括的にバイスタンダーの「心」を支える「バイスタンダーサポート事業」を開始しました。</p> <p>同事業の運用開始に当たり、事業の促進と応急手当の普及啓発を目的として、バイスタンダー経験のある方を講師に招き、応急手当を実施した方が抱える不安や心理的な負担などに関する講演会を、消防職員を対象に開催します。</p>
How (どのように)	<p>※バイスタンダーサポート事業の概要</p> <ol style="list-style-type: none">市消防本部<ol style="list-style-type: none">初期対応として救急現場を知る職員が傾聴。必要に応じ、提携した二つの機関を案内応急手当実施者向けリーフレットを作成・配布東海大学医学部付属病院 精神科の専門外来「バイスタンダー外来」で診察NPO法人 AQUA kids safety project 救命事業部 専門カウンセラー(バイスタンダー経験者)によるピアカウンセリングを実施
Why (なぜ)	<p>心肺停止した傷病者に対しては、バイスタンダーによる応急手当が必要不可欠ですが、救命活動後、多くの方が何らかのストレスによる反応を経験しています。</p> <p>勇気ある行動後の生じる負担や不安に対するサポート機関が不足している現状を解消するため、今月、サポート事業を開始しました。また、今後の普及啓発の足掛かりとして、バイスタ</p>

まほろば秦野通信

	ンダーの心的負担を理解し、今後の接遇に生かすため、組織内部の学習の機会として開催を決定しました。					
今後の取り組み	市民向けに開催している応急手当講習会を通じて事業の普及啓発をしていきます。また、現在はサポートの対象から外れている、亡くなった傷病者の家族へのサポート「グリーフケア」の体制づくりを目指します。					
取材対応	撮影	<table border="1"> <tr> <td>写真</td> <td>動画</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 可 ・ 否</td> <td><input type="checkbox"/> 可 ・ 否</td> </tr> </table>	写真	動画	<input type="checkbox"/> 可 ・ 否	<input type="checkbox"/> 可 ・ 否
	写真	動画				
	<input type="checkbox"/> 可 ・ 否	<input type="checkbox"/> 可 ・ 否				
	インタビュー 対応者	<table border="1"> <tr> <td>よみがな ながの しょうき</td> <td>肩書 学年 クラス等</td> </tr> <tr> <td>氏名 長野 庄貴 氏</td> <td>講師</td> </tr> </table>	よみがな ながの しょうき	肩書 学年 クラス等	氏名 長野 庄貴 氏	講師
		よみがな ながの しょうき	肩書 学年 クラス等			
氏名 長野 庄貴 氏	講師					
	<table border="1"> <tr> <td>よみがな いなげ しんじ</td> <td>肩書 学年 クラス等</td> </tr> <tr> <td>氏名 稲毛 真二</td> <td>消防署消防管理課長</td> </tr> </table>	よみがな いなげ しんじ	肩書 学年 クラス等	氏名 稲毛 真二	消防署消防管理課長	
よみがな いなげ しんじ	肩書 学年 クラス等					
氏名 稲毛 真二	消防署消防管理課長					
制限内容や 注意事項	<u>取材希望の場合は、22日（水曜日）までに広報広聴課にご連絡ください。</u>					
問い合わせ (当日の担当者)	消防署消防管理課 救急救命担当：室伏 電話：0463（81）8020					